

玉水ネットワーク 「川の学校」実施要領

日 時：平成 20 年 7 月 22 日(火) 午前 10:00～12:00 (玉水メンバーは 9:30 集合)

対象者：那覇市仲井真小学校 4 年生 3 クラス 約 120 人

場 所：仲井真小学校横の国場川

水質観察場所：渡地橋下流の親水護岸部石列配置場所の上流と下流

水生生物観察場所：渡地橋上流の親水護岸部分

プログラム

1. あいさつ 10:00－10:05 仲井真小
2. 講師紹介 10:05－10:10 仲井真小
2. 作業説明 10:10－10:20 玉水ネットワーク (高平)
3. 国場川観察 10:20－11:30

クラスごとに編成 (3 組) し、10 分おきに出発・・・案内指導：担任教諭、PTA

講 話 前半 10:20－10:40 (2 組、3 組が出発する前に川の話をする)

後半 11:00－11:20 (1 組、2 組が帰ったあとに川の話をする)

担当：崎山

水質観察 玉水メンバーが石列上流と下流で水を汲み、パックテストで両者比較
パックテストの実施は 2 組に分かれ、クラス代表 10 人 (5 名×2 組) で
クラスごと 7～10 分 結果説明と河川の話 5 分

1 組 (10:30－10:40) 検査後、バケツを持って移動

2 組 (10:40－10:50) ”

3 組 (10:50－11:00) ”

担当：知名、寺田、高平 (1 組目のみ)

水生生物 玉水メンバー数名とクラス代表 5 名程度で川に入り、水生生物を採集
採集した生物を環境ごと (2 カ所) にバケツに集め、持ち帰る

1 組目 (10:50－11:00) 採集後、バケツを持ち帰る

2 組目 (11:00－11:10) ”

3 組目 (11:10－11:20) ”

担当：高平、松本

国場川の話 国場川の歴史や人との関わりなどを説明

担当：嘉数、他国場川メンバー

4. 結果まとめ 11:30－11:50・・・高平

水生生物のまとめ：クラス、採集場所ごと (バケツごと) にバットに移し、同定する
同定結果、水質結果はパソコンにまとめ、プロジェクターで投影する。

補足説明・・・・・・・・・・他、玉水メンバー

5. 終のあいさつ 11:50－12:00 仲井真小

準備するもの

水質・水生生物調査関連

温度計	6 本 . . . 学校
透視度計	2 本 . . . 高平、崎山
バケツ (8 ㍓以上)	6 個 . . . 学校
COD パックテスト	33 セット・総合事務局
タモ網	15 個 . . . 高平
記録用紙	120 枚 . . . 高平
説明書	160 部 . . . 高平

管理に関するもの

ハンドマイク	1 台 . . . 学校、高平、
救急セット	1 台 . . . 学校
カメラ	 各位
20 ㍓水カン	1 台 . . . 高平

説明用として準備するもの

プロジェクター1 台	 学校
パソコン 1 台	 高平
スクリーン 1 台	 学校
白版	 学校

調査員が準備するもの

胴長 (高平、松本)
長靴 (知名、寺田)

各員準備するもの

筆記用具
水筒
タオル・ハンカチ
帽子

(3) 水質によるちがい

水質によってもすむ生き物にちがいがあります。きれいな水質でないと住めない生物にはサワガニやウズムシ(プラナリア)、カワゲラ類、トビケラ類、カゲロウ類などがあり、き

たない水質を好む生き物には赤色をしたユスリカの幼虫、イトミミズ類、サカマキガイなどがあります。したがって、これらの生物を調べることで水質を知ることができます。

水のよごれを見分ける基準となる仲間たち



